

山陰教区 門徒総代会だより

編集・発行：浄土真宗本願寺派山陰教区門徒総代会 会長 鎌原茂幸
〒690-0002 松江市大正町443の1本願寺山陰教堂 TEL 0852-21-4747 FAX 0852-27-8351

本願寺山陰教堂「御正忌法要」

(二〇二一年一月二十一日)

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される中、山陰教堂では感染予防に細心の注意を払いながら御正忌法要をお勤めしました。演台にはアクリル板を設置し、参拝者の間隔を空けるなど、密を避ける取り組みを行いました。また、別棟の教化センター研修室に法要をライブ中継し、参拝席の確保に努めました。



各組代表理事より

会長 浜田組 鎌原茂幸

浅学非才の私が、大先輩の上田正吉前会長の後任との要請をうけ、驚愕しながらも受任いたしました。予想だになかった、世界を震撼させているコロナ禍にこそ、「南無阿弥陀仏」を称えるときではないでしょうか。「楽しむ居場所はお寺である」という情報発信を心がけ、オンライン化の中で翻弄されつつも、皆様のご指示のもと、務めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

副会長 松江組 澤田暉夫

近年、ちょっとしたご縁で、市内の中心部にある小高い山の一角の古民家にご縁がありました。百年経った家は手の付けようもなく荒れていましたが、家業と趣味が加わり、一年かけて再生し、長年趣味で集めたガラクタの美術館を作りました。この山は仕事場からも近く、子どもの頃は遊び場でした。そんなこともあり、時間をつくり、茶道具を下げて二、三分で登れる山頂で一服のお茶をいただきます。ここは、松江城築城を決めた堀尾吉晴公の碑があり、松江市を一望できる最高の場所です。それに加え、明治期に作られた大仏もあり、昔は桜とともに松江の名所でした。大仏(盧舎那佛像)に向かい一献の茶をするひと時は今までに味わったことのない時間でした。

コロナ禍で社会事情が根底から見直しを迫られる中で、ひと呼吸つける場所を見つけることの大切さを感じました。気が付かぬ間に物と金に支配され、一人ひとりが経済社会の歯車にされてしまった今日、身近にあるお茶をすすりながら、今一度自分の立っている場所を定めたいと思う昨今です。

二〇二〇(令和二)年度よりご就任いただきました
各組代表理事の皆様にご寄稿をお願いいたしました。
各組・各ご寺院での取り組みなどご参考いただければ幸いです。
(掲載は組番号順)

鳥取因幡組 石原 康夫

私のお寺、光輪寺では報恩講をはじめ永代経などの法座を年間六回、延べ十三日間開座しておりますが、コロナ禍の影響で昨年は一日の行事が午前中半日となりました。楽しみにしております仏教婦人会の皆さまの手づくりのお斎は格別ですが、当分中止です。また、年末の報恩講は一五〇人ぐらいのお参りがありますが、いろいろ制約もあり仲間と親しくお聴聞することが少なくなりました。残念でなりません。一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息すること

鳥取伯耆組 河野 俊一

鳥取伯耆組では毎年、総代研修会や、各寺相互の交流と親睦を図るため、グラウンドゴルフ大会を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中

(掲載は組番号順)

止となりました。私のお寺、善正寺でも年中行事を計画しておりますが、法座ではお勤めのみとなりました。報恩講も同様にお勤めのみとなりましたが、例年行つております事前の境内清掃に合わせ、昨年は樹木の剪定作業(例年は業者委託)も門徒で行おうという声があがり、十月後半に約一週間かけて有志で行うことができました。コロナ禍で自粛・活動縮小の中、門徒のつながりを感じられる良い縁となりました。今年こそコロナ禍が終息し、以前と同じように活動できることを念じます。

大事な一日一日、六字を称えながら。 合掌

出雲組 村上 勉

出雲組は出雲市(旧出雲二、旧平田三、斐川六)及び雲南市(加茂一、大東二)の十四ヶ寺で構成

されております。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、総会及び研修会が規模を縮小して開催となりました。

今までとは違う方法となり戸惑いもありますが、限られた人数での創意工夫が大切であると強く感じております。

それぞれの単位においても、三密を避けながら諸行事を開催されております。

コロナ禍への対応も含めて、今後の寺院の方策等を考える時間を与えられたものとして、各寺院で協議を積み重ねていただくことを強く願います。

出雲南組 高橋 守

近年、地球温暖化の影響と思われる大きな自然災害が発生し、特に本年は、経済はもちろん人間の生活様式そのものを変えて行かざるを得ないコロナ禍に見舞われました。その中で思う事は、自身の煩惱と闘いながら、先を見据え、延々と続いている浄土真宗のみ教えに常に心を寄せながら、差別のない、競争はあっても争いごとのない社会になるように自分にできることを積み重ね、人生の目的を

達成したと実感できるように日々精進したいと念じております。

大田東組 竹本 嘉人

ご門主が示された「私たちのちかい」をテーマとする組の研修会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止し、その代わりに釈徹宗氏の冊子『私たちのちかいの味わい』を会員に配布し、その感想を組報に掲載することとしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大による不安な社会で、感染者等に対してあつてはならない誹謗中傷や差別があるという報道がなされていきます。今こそ「私たちのちかい」を今の社会に照らし合わせ、自らに問いかけて学んでいきたいと思ひます。

大田中組 三井 隆治

〈概況〉

コロナ禍で各位が工夫しながら生活面で知恵を出し、その結果として健康で安全に過ごせています。諸活動を休止し今に至っています。

〈土台〉

組とは、「みんなで集まり合い」

「話し合い」「考え合う」と言う、三つの「合い」から成り立っています。この「合い」から楽しみや喜びが生まれ、仲間意識が深まり、心の安心・心の健康・心の安全が満たされていました。

〈環境〉

この喜びや楽しみを奪っているのが今のコロナ禍なのです。三つの「合い」が限定・規制され、窮屈な生活を過ごしているのが実情です。しかし、良い一面として、通信環境の充実から、非接触での情報交換や会合などが簡単にできる世の中へと進んでいることが挙げられます。

〈課題〉

お寺も組も門徒も、この情報共有化による繋がりがまだ足りていません。コロナ禍を機に見直す必要のある部分とも感じます。この先の社会を見つめて、ハード・ソフト両面の整備・工夫・改善を進め、三つの「合い」のある会合を進める必要があります。

合掌

大田西組 小川 和邦

大田西組は、島根県のほぼ中央の日本海寄り、かつての「石見の国」に位置し、十八ヶ寺で構成し

ています。

大田西組は妙好人・浅原才市が生まれ生涯を過ごした地域です。妙好人が活躍された時代と比べることはできませんが、信心の篤いところで、コロナ禍でも内容を少し変えながら報恩講をお勤めし、例年通り多くの門信徒の皆さんの参拝をいただきました。

佐波組 尾原 繁樹

九年前の平成二十四年一月から、毎月一回開催として始まった、浄土真宗の勉強会「朋友会」は、昨年の三月、新型コロナウイルス感染症の影響で、百回目を目前にして九十六回で休止となりました。

毎年七月の永代経法要は中止となりましたが、九月には彼岸法要が勤められ、ご講師（葬祭カウンセラー）とは、オンラインで東京と結んで行われました。報恩講は、午前と午後に分けて十一月二十三日に開座予定です。例年八十名前後のお参りがあります。

川本組 東間 宏之

町の人口は、平成元年と比較して四十四%減少。六十五歳以上の

比率も二十一ポイント上がり四十五%と過疎化・高齢化が進んでいる。

町内各集落で空き家が目立ち、特に町の中心地では空き家が解体され更地が増えている。

年六回の法座の参詣者も高齢化し、年々減少している。

昨年の法座は報恩講のみとなった。早く以前のような日常生活が戻り、自由に旅行や孫に会いに行きたいものだ。

邑智西組 椿 公章

令和二年は、コロナ禍による行政の指導もあり、通夜・葬儀の形態が変化し、家族のみで執り行うようになりました。

組内寺院で葬儀や仏事のあり方を協議し、浄土真宗本願寺派「法事・法要勤修のための留意点（ガイドライン）」に基づき、感染予防に留意して実施することを葬儀社に依頼するとともに、ご門徒に文書で周知しました。

私が総代長を務めている西念寺におきましては、御正忌報恩講の勤修以降、永代経法要等の法要諸行事が中止となりましたが、総代会において協議し、パーテーション、アルコール消毒液の設置、ソー

シャルディスタンスの徹底等の感染防止対策を行い、十一月十一日に報恩講をお勤めすることができました。

三隅組 山田 洋夫

鬼滅の刃ブームが社会現象化している。世の流れに遅れまいと十月に放映されたTV劇場版と記事で内容を知った。主人公の人間愛はもちろんだが、鬼も元は人間、死に至る時に人間だった時の家族との絆、特に父母の愛を思い浮かべ成仏していくように描かれている。悪い鬼が死ぬのだが、なぜか感情を揺さぶられる。全ての人々をもれなく救うという阿弥陀さまのご本願や親鸞聖人の教えが随所に盛り込まれた物語であると思った。

益田組 吉村 稔

この度のコロナ禍で、日々の生活でもどかしい思いをしております。一月の御正忌報恩講を最後に法座などの行事は全て中止となり、十月に入り、ようやく特別永代経をお勤めしました。ご門徒はこの日を待っていたのでしよう。多数（七十余名）のお参りをいた

山陰教区門徒総代会各組代表理事名簿

任期：2020（令和2）年4月1日～2022（令和4）年3月31日
(敬称略)

各組代表理事

組名	所属寺	名前	5ブロック
鳥取因幡	光輪寺	石原康夫	鳥取ブロック
鳥取伯耆	善正寺	河野俊一	
松江	本誓寺	澤田暉夫	出雲ブロック
出雲	西念寺	村上勉	
神門	明顕寺	樋野宏文	
出雲南	圓壽寺	高橋守	
飯南	明覚寺	石田和久	
大田東	真浄寺	竹本嘉人	石東ブロック
大田中	玉泉寺	三井隆治	
大田西	明円寺	小川和邦	邑智ブロック
佐波	明光寺	尾原繁樹	
川本	福常坊	東間宏之	
千須賀	西光寺	岡本明憲	
邑智東	西福寺	古川良一	
邑智西	西念寺	椿公章	石西ブロック
江津	正福寺	瀬頭龍平	
浜田	正念寺	鎌原茂幸	
三隅	明光寺	山田洋夫	
益田	専光寺	吉村稔	
鹿足	圓教寺	橋本正嗣	

常任理事

役職	所属寺	名前	備考
会長	正念寺	鎌原茂幸	
副会長	本誓寺	澤田暉夫	
副会長	正福寺	瀬頭龍平	
常任理事	光輪寺	石原康夫	鳥取ブロック
常任理事	明顕寺	樋野宏文	出雲ブロック
常任理事	真浄寺	竹本嘉人	石東ブロック
常任理事	西福寺	古川良一	邑智ブロック
常任理事	専光寺	吉村稔	石西ブロック
監事	圓壽寺	高橋守	
監事	明覚寺	石田和久	

だき、大変うれしく、熱いものを感じることができました。阿弥陀さまのたいなる慈悲につつまれ念仏申す喜びに、これからも「ありのままにひたむきに」努めていきたいと思います。

鹿足組 橋本 正嗣

新型コロナウイルス感染症の拡大により、春の永代経法要は中止した。九月も下旬になり、秋の永代経法要を開座すべきかどうか検討するため、役員会を開催し、併せて門信徒の意見も聴取した。リスクを回避するため、中止した方が良いとの意見が少し多いと感じた。しかし春・秋とも中止すると、

お寺への関心が薄れたりお参りする習慣が途絶えたりする。「リスク」ではなく「恐れ」が「恐く」少し「工夫」して開座することとした。近年、世代交替による信仰心やお寺への関心の変化がとく言われ、お寺の維持継続を心配される向きも少なくない。何ごととも今まで通りではなく、いかに工夫するか時代ですね。

長らく山陰教区門徒総代会の事務を担当された当教務所賛事の窪田隆道氏が、昨年十一月二十八日、ご逝去されました。謹んでお知らせいたしますとともに、深く感謝と哀悼の意を表します。

編集後記

令和二年度は山陰教区門徒総代会の役員改選を行い、新体制となりました。しかしながら、コロナ禍の影響で、予定しておりました第四連区研修会をはじめ、教区諸行事は中止。各組においても、思うように総代会行事が行えない状況であるとお聞きしています。各ご寺院においても、社会状況の変化に伴い、護持運営においてさまざまな苦勞をされています。

その一方で、オンラインによる情報交換やインターネットによる情報発信など、新しい技術を取り入れる動きも徐々に進んでいます。

浄土真宗の寺院は「聞法の道場」。親鸞聖人がお示しくださったみ教えは、社会情勢が変化しても決して変わることはありません。阿弥陀さまの願いをお聞かせいただく「場」を次の世代につなげていけるよう、精一杯のお手伝いできればと思っています。

(事務局)